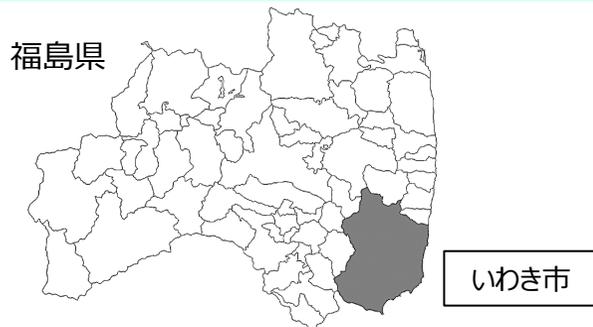


1. 地域農業の状況



- いわき市は福島県浜通りの南に位置しており、面積は1232.02km²と県土の8.9%を占める。東は太平洋、西は阿武隈高地に接している。
- 年間日照時間が2,000時間以上で、年平均気温は、約14℃と寒暖差の少ない温暖な気候である。
- 農業は水稲のほか、温暖な気象条件を生かし、トマト、いちご、ねぎ、日本なし、りんどう、トルコギキョウが主要園芸品目となっている。
- 市内の荒廃農地面積は568ha（うち遊休農地面積は313ha）で、管内農地に占める割合は7.0%となっている。（令和4年3月末時点）
- 高齢化や後継者不足から中山間地域を中心に遊休農地が増加傾向にあり、イノシシ等の鳥獣被害も拡大している。



<再生前>

2. 地区概要

取組主体	合同会社丹沢そば福島いわき	地区名	よつらまちおおもり 四倉町大森地区
再生面積	73a（事業活用面積）	取組年次	令和5年度
作付作物	そば	販路	そば店、JA直売所、道の駅

3. 取組内容及び効果

市内の農地を借り受けてそば栽培で維持・再生

- 取組主体は、神奈川県のおそば農家で研修ののち、令和3年からいわき市でそば栽培を開始。その後、**農地中間管理機構を通じて市内3か所に農地を借り受け、自前での整地作業に加え、令和5年度には県単独事業を活用し、農地利用最適化推進委員らとともに、荒廃農地を再生した。**
- 地区の農地所有者からの希望もあり、**令和6年度は、約11haの農地を借り受け**ている。
- 収穫したそばは、乾燥調製を行い神奈川県の丹沢そば本店へ卸すほか、乾麺に加工し、市内のJA直売所、道の駅で販売している。
- **事業で再生した農地では、いわきの温暖な気候を生かしながら、そばの三期作に挑戦した。**引き続き耕作を継続し、更なるそばの品質向上を目指していく。



<再生後>



<乾麺に加工されたそば>

活用した支援策

R5 遊休農地等再生対策支援事業（県）